

令和7年12月市議会定例会 提案説明

本定例会に提案いたしました諸議案の説明に先立ちまして、所信の一端を申し述べさせていただきます。

1. はじめに

昨年10月、地元選出の石破茂衆議院議員が本県出身者として初めて内閣総理大臣に就任されました。石破内閣は、我が国に活力を取り戻す「地方創生2.0」を「令和の日本列島改造」と位置づけ、これを強力に推進するため、本年6月、「地方創生2.0基本構想」を取りまとめるとともに、米国トランプ政権との関税交渉や賃金・物価高騰対策、我が国の防災体制を抜本的に強化する防災庁の設置に向けた取り組みなど、山積する国政の課題に果敢に立ち向かい、着実に成果を挙げてこられました。厳しい政治情勢のもとにあっても、粘り強く国政を推し進め、地方に寄り添った政策に取り組まれたことに対し、深く敬意を表し、心より感謝申し上げます。

新たに発足した高市内閣でも、引き続き、人口減少・少子高齢化への対応や、東京一極集中の是正、地域経済の再生、大規模災害を見据えた防災・減災対策など、現場である地方と正面から向き合う政治をさらに推し進め、地方が生き生きと成長する政策を着実に実行していただきたいと期待するものです。

2. 人口減少対策

本市では、人口減少の流れを緩やかにするとともに、人口規模が縮小しても持続的に発展し、市民の皆様が安心して暮らせるまちづくりの実現に向けて、全庁一丸となって施策に取り組んでいます。

その中核を担う「鳥取市人口減少対策推進本部」を11月4日に開催し、策定作業が大詰めを迎えており第12次鳥取市総合計画の重点施策として、人口減少対策につながる取り組みを鳥取市地方創生アクションプランに盛り込み、推進していくことを確認しました。

また、若手職員プロジェクトチームから、子育て、経済、関係人口の各分野で、若者の視点を生かした斬新なアイデアによる具体的な施策提案を受けました。昨年度の提案から生まれた、麒麟のまち圏域の学生と若手社会人の交流事業では、地元学生に麒麟のまち圏域で働くことや暮らしを考える機会を提供しており、参加した学生からは「鳥取暮らしの良さを感じることができた」「地元社会人の話を聞いて、働く実感が湧いた」など、好意的な感想をいただいております。

こうした成果を踏まえ、今年度の提案についても事業化に向けた検討を早急に進め、地域の課題解決や次の時代を見据えた取り組みへ具体化していきます。

引き続き、地方創生の実現に向け、市民の皆様とともに、力を合わせ、若者や女性をはじめ、あらゆる世代にとって、魅力と活力にあふれ、安全・安心に住み続けることができるまちづくりに、先頭に立って取り組

んでまいります。

3. 鳥取駅周辺の再生と賑わいづくり

本市が将来にわたり、夢や希望にあふれた明るいまちであるためには、人でにぎわい、活発な経済活動の行われる中心市街地の活性化が不可欠です。そこで、まちづくりの中心拠点となる鳥取駅周辺の再生に向けた取り組みを、関係機関や関係団体の皆様と一緒にになって、全力で進めていいるところです。

こうしたなか、本年10月1日に、鳥取駅の「シャミネ鳥取」に、飲食ゾーン「えきなかキッチン」と「おみやげ楽市（らくいち）」がオープンし、連日、多くの市民や来街者の皆様が利用され、駅周辺に新たな賑わいが生まれています。本市としても、こうした民間投資がさらに促進されるよう、鳥取駅周辺の再生に向けた様々な取り組みを加速していきたいと考えています。

鳥取駅周辺再整備の取り組みでは、本年10月3日に第5回、11月19日に第6回目となる「駅まち空間デザイン検討部会」を開催し、平面レイアウトや広場などの基本デザインに関する議論を深めるとともに、利用される皆様の思いやアイデアを反映させていくため、風紋広場の利用者や学生の皆様との意見交換やワークショップを重ねているところです。

また、第2回目となる「鳥取駅周辺リ・デザイン市民フォーラム」を

12月21日に開催する予定としており、こうした取り組みを重ねながら、市民の皆様と一緒にあって、本市の明るい未来を築く鳥取駅周辺再整備を強力に推し進めてまいります。

4. ふるさと納税

自分の生まれ育った地域や応援したい自治体を、寄附というかたちで支援できる、ふるさと納税制度の寄附額は、平成20年度の税制改正での導入以降、全国で年々拡大し、令和6年度の利用者数は1,000万人を超え、寄附金額は1.2兆円を超える規模となりました。

本市におきましては、平成26年度に2.4億円だった寄附額が、全国の皆様から温かいご支援をいただいた結果、昨年度には過去最高額の9.3億円に達し、今年度は11億円を超える寄附を見込んでおります。

この寄附額の増加は、本市の特産品や地域の魅力が多くの方々に知つていただけた証であり、地域の農林水産業をはじめとする事業者の皆様にとって、需要の喚起や販路拡大の大きな機会となり、地域経済の活性化に大きく寄与していることを、大変誇らしく感じております。

引き続き、農林水産業など地域の生産者やさまざまな事業者の皆様と連携し、新たな返礼品の発掘や開発を行うことで、より多くの方に本市の地元産品の魅力を知っていただき、ふるさと納税による寄附を契機とした関係人口の創出、地域経済の活性化を進めてまいります。

5. 観光のまちづくり

本年4月から10月に鳥取砂丘を訪れた観光客は約112万6千人
に達し、昨年の同じ期間と比べ、10万人以上増加しています。これは、
「大阪・関西万博」の開催による誘客効果や、依然として好調なインバ
ウンド需要などが影響しているものと考えており、本市の魅力や知名度
が着実に広がっていることを実感しています。

第16期展示「砂で世界旅行・日本」が好調な、砂の美術館の入館者
数も、11月24日時点で38万人を超え、昨年の同じ期間から6万人
以上増加しており、先月22日からは日本の四季をテーマにプロジェク
ションマッピングを開催し、幻想的な世界観で訪れる方々を魅了してい
ます。

冬の味覚の王様であり、旬を迎えた松葉ガニのシーズンに合わせた第
2弾の鳥取市宿泊キャンペーン、さらには実証事業を経て、12月1日
から本格的な事業としてスタートした「シェアサイクル事業」、そして
14日にオープニングを迎える鳥取砂丘イリュージョンなど、引き続き
観光需要の獲得や受入環境の充実に取り組んでまいります。

また、「流しひなの里 用瀬」のシンボル的な橋である雛（ひいな）橋
の欄干を、市民の皆様との協働のもと塗装などにより改修し、来年4月
19日に開催される流しひな行事に向けて、訪れる皆様に喜んでいただ
ける受入環境の向上に取り組みます。

6. 学校給食

安全・安心な学校給食を将来にわたって提供できるよう、本市は現在、新たな学校給食センターの整備を進めています。工事にあたっては、地元事業者の技術力を結集し、この大型事業を推進していきたいと考えています。

昨今の食材価格の高騰により、今の学校給食費の水準では、十分な食材の確保や地産地消の維持が難しい状況にあります。現在、国において議論が進められている、学校給食無償化の制度設計や、財政支援の方向性を注視しつつ、本市としても、子どもたちの健やかな体を育むことと、保護者の経済的負担の軽減の両方を図る観点や、地元食材の活用による地産地消の推進など、最適な学校給食のあり方について、責任をもって検討する必要があります。

検討にあたりましては、外部有識者や学校関係者、保護者代表の意見を丁寧に伺いながら、他自治体の取り組みや国の方針を踏まえつつ、すべての子どもたちが安心して学校給食を受けられる環境を目指してまいります。

7. 人を大切にするまちづくり

本市では、昨年度からアルツハイマー病治療薬による治療を支援し、市民の皆様の高額な検査・治療費による経済的負担の軽減を図っており、市報や公式ホームページ、補助制度を案内するチラシのほか、早期アル

ツハイマー病の専門診断医療機関である鳥取県立中央病院において、治療薬の投与を希望される方への周知・活用促進にご協力いただきながら、早期発見・早期治療の促進に取り組んでいるところです。

また、医療保険の対象とならない不妊治療の支援では、子どもを望む夫婦の経済的負担の軽減を図り、安心して子どもを産み育てることができるよう支援を行うとともに、子育てに対して不安や負担を抱える世帯への支援においては、妊娠婦やヤングケアラーがいる家庭を支援員が訪問し、家庭が抱える不安や悩みに寄り添った相談対応、家事・育児などの支援を行うことで、安心・安全な養育環境となるよう、訪問支援の充実を図ってまいります。

地域や団体、行政が協働し、「鳥取市地域福祉推進計画」や「鳥取市こども計画」をもとに、引き続き、住み慣れた地域で自分らしく、共に支え合いながら安心して暮らし続けられる地域共生社会の実現に向けて取り組んでまいります。

8. 議案の説明

それでは、本定例会に提案いたしました諸議案につきまして説明申し上げます。

議案第136号から議案第146号までは、一般会計、特別会計及び企業会計の補正予算でありまして、ただいま申し述べました施策に関連した経費などを計上しております。

議案第147号は、鳥取市鹿野城跡公園の整備に伴い、設置及び管理並びに使用料について必要な事項を定める条例を制定するものです。

議案第148号は、公職選挙法施行令の一部改正に準じて、市議会議員及び市長の選挙運動に係る市費負担限度額の引上げを行うため、関係する条例の一部を改正するものです。

議案第149号は、一般行政職給料表の適用を受ける職員でその職務の級が7級以上であるもの等の昇給区分の改定を行うため、関係する条例の一部を改正するものです。

議案第150号は、地籍調査の成果の写しを交付する手数料を定めるため、関係する条例の一部を改正するものです。

議案第151号は、鳥取市自家用有償バス船磯線及び逢坂線を統合して逢坂船磯線とともに、宝木河内線を鹿野線に変更するため、関係する条例の一部を改正するものです。

議案第152号は、鳥取市総合福祉センターの会議室の利用料金を定めるため、関係する条例の一部を改正するものです。

議案第153号は、児童福祉法等の一部を改正する法律の施行による関係基準の一部改正等に伴い、所要の整備を行うため、関係する条例の一部を改正するものです。

議案第154号は、児童福祉法の一部改正による放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、所要の整備を行うため、関係する条例の一部を改正するものです。

議案第155号は、鳥取市介護老人保健施設の各種診断書の交付に係る手数料の改正を行うため、関係する条例の一部を改正するものです。

議案第156号は、児童福祉法の一部改正による児童福祉法に基づく指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準の一部改正等に伴い、所要の整備を行うため、関係する条例の一部を改正するものです。

議案第157号は、鳥取市青谷町コミュニティセンターの施設使用料を変更するため、関係する条例の一部を改正するものです。

議案第158号から議案第187号までは、指定管理者の指定に関する議案です。鳥取市介護老人保健施設やすらぎの指定管理者として、社会福祉法人あすなろ会を指定するなど39施設について指定管理者を定めるため、それぞれ必要な議決を求めるものです。

議案第188号は、Axi'sバードスタジアム大型映像装置の主要設備の購入について、必要な議決を求めるものです。

議案第189号は、鳥取市公設地方卸売市場再整備事業業務委託契約の変更について、必要な議決を求めるものです。

議案第190号は、神谷清掃工場解体工事請負契約の締結について、必要な議決を求めるものです。

議案第191号は、大森団地RG3棟改修（建築）工事請負契約の締結について、必要な議決を求めるものです。

報告第27号は、災害救助法の一部改正に伴い、所要の整理を行うため、関係する条例の一部改正を令和7年10月24日に専決処分しました

たので報告するものです。

報告第28号は、電気通信事業法の一部改正に伴い、所要の整理を行うため、関係する条例の一部改正を令和7年10月28日に専決処分しましたので報告するものです。

報告第29号は、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律の一部改正に伴い、所要の整理を行うため、関係する条例の一部改正を令和7年11月4日に専決処分しましたので報告するものです。

報告第30号は、国府人権福祉センター及び用瀬人権文化センターが発行した印刷物などにおいて、相手方が著作権を有する各イラストを使用許諾を得ずに使用した著作権の侵害に係る損害賠償の額及び和解について、令和7年11月14日に専決処分しましたので報告するものです。

報告第31号は、あおば地区公民館が発行した「あおば地区公民館だより」などにおいて、相手方が著作権を有するイラストを相手方の許諾を得ずに使用した著作権の侵害に係る損害賠償の額及び和解について、令和7年11月14日に専決処分しましたので報告するものです。

以上、今回提案いたしました議案につきまして、その概要を説明申し上げました。ご審議のほど、よろしくお願い申し上げます。